

第24期・第1回 科学的知見の創出に資する可視化分科会 議事録

1. 日時 平成30年5月24日(木) 10:00~12:00
2. 会場 日本学術会議5階 5-D会議室
3. 出席者(敬称略・五十音順): 大倉・行場・小山田・田中^寛・萩原・藤代・明和
4. 欠席者(敬称略・五十音順): 越塚・下條・高橋
5. 議題
 - 1) 役員選任について
 - 2) 活動方針について(資料1)
 - 3) 小委員会設置について(資料2, 3)
 - 4) その他

経過

1. 委員の自己紹介が行われ、引き続き、委員長として小山田委員が選出され、委員長より、副委員長として萩原委員、幹事として大倉・明和委員が指名された。
2. 配布資料1に基づき、本分科会設置の前提となる提言要旨が説明された。
 - 可視化が市民権を得つつあるが、意味がコミュニティ毎に異なっている。第23期は科学的知見創出の観点に注目した(小山田委員)
 - 以前に増して、可視化の重要性が認識されてきた(萩原委員)
3. 活動方針に関して、以下のような意見・提案があり、承認された。

意見

- 感性・心理・意識・認知をキーワードとする議論を展開したい(小山田委員)
- 可視化以外の感覚を利活用する、いわば可感覚化が重要である(行場委員)
- ヒトの脳と心的機能の発達過程に可感覚化環境が及ぼす影響可能性についての議論は必須(明和委員)
- 最先端可視化ツールは有効に使うことが大事(萩原委員)
- 幼児教育臨界期における適応、人にやさしい情報提示に注目する必要がある(大倉委員)
- スマホの利用が学業成績を低下させることが指摘されているが、関連であって真の原因は不明(行場委員)
- 可視化研究における教育心理学の利活用(藤代委員)

提案

- 小委員会等からの企画を受けて、公開シンポジウムを開催する。分科会委員が講演・司会等で貢献いただく(小山田委員)

- 公開シンポジウムの開催日時に合わせて、例えば、昼食時に分科会を開催する（小山田委員）
 - 小委員会で提言案を起案し、分科会委員からのアドバイスを受けて、事務局に提出する（小山田委員）
4. 配布資料 2, 3 に基づき、田中・藤代委員よりそれぞれ小委員会設置の提案があり、承認された。
 - 今年度 12 月に公開シンポジウム開催を目指す
 - 今期中の提言出版を目指す。
 5. 議事録作成後、委員間で回覧の後、微修正等については委員長に一任することとなった。
 6. その他 特になし
 7. 次回分科会は、12月15日（土）で調整（当日午後に公開シンポジウム）